

PocketPostPet

2000年4月、ドコモは、キャラクターエージェント付きメール端末「PocketPostPet」を商品化し、販売開始した。

PocketPostPetは、キャラクターエージェントを前面に出した端末という、これまでのドコモの商品ラインアップになかった製品である。

本稿では「PocketPostPet」の製品概要および、エージェントサービスについて述べる。

いそぎみかつみ かわかみ ひでくに
五十君克己 河上 英邦

1. まえがき

「PocketPostPet」は、ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社(So-net)のインターネット用電子メールソフトウェア、「PostPet」に特化して企画された新しい携帯情報端末である。

以下、この製品の概要と、エージェントサービスについて述べる。

2. 開発方針

「PocketPostPet」は、安価で簡単なメール端末というコンセプトを継承しつつ、ポストペットというキャラクターを前面に出すことで見た目のかわいさ、メールの楽しさを追求した端末である。

この製品は、メールソフトウェア「PostPet」のほかにも、ポストペットのキャラクターを使って遊ぶゲームなどを搭載している。

「PostPet」は、もともとはSo-netのPC版、HPC版のソフトウェアだが、ペットがメールを運んでくれるというコンセプトがヒットし、これまでに累計88万セットを出荷している。「PostPet」はメールの楽しさをアピールするのに最適なソフトであり、このソフトウェアに特化した、安価な携帯情報端末の商品化の企画をSo-netと

進めた。

ユーザに持ち歩いてもらうには、外見が非常に重要である。この商品の外観は、ポストペットのメインキャラクターである「モモ」をモチーフに大胆かつ斬新なデザインとし、見た目のかわいらしさを追求した。また、液晶は高輝度で4096色カラーSTN液晶を採

用し、表現力の豊かさを追求した(写真1)。

「PocketPostPet」は、HTML3.2準拠でcookieやSSLに対応した高機能Webブラウザを搭載することで、本格的なWebブラウジングも可能にし、ユーザ名、パスワードなどの個人情報を自動的に設定するスーパークイック

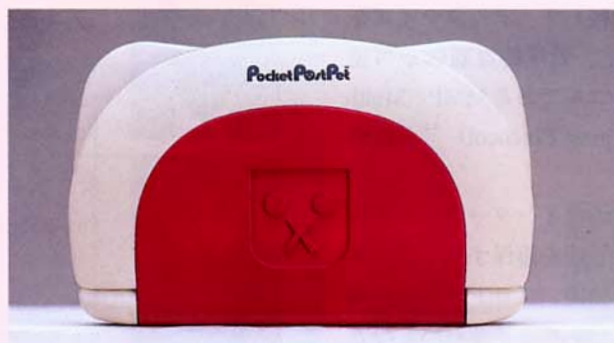


写真1 PocketPostPetの外観

表1 PocketPostPetの諸元

通信アプリケーション	インターネットメール (mopera, So-net) WWWブラウジング
その他アプリケーション	アドレス帳、カレンダー、時計、電卓、ゲーム
適応回線	デジタル携帯・自動車電話9600bit/s
ケーブル収納	一体型ケーブル底キャビ収納式
表示	4096色カラーSTN液晶
メモリ	(ユーザーエリア2.0MB)
外部インタフェース	赤外線 (IrDA)
電源	内蔵リチウムイオンバッテリー 連続表示5時間 連続通信時間3時間
サイズ	153(W)×94(D)×35mm(H)
重量	315g

スタート機能により、moperaやSo-netに入会したときの、機器の面倒な設定をなくした。

このように、まったくの初心者でも簡単にインターネットを始めることができることを目標に、So-netと企画を進めた。

3. PostPetの概要

PostPetは、So-netが開発したメールアプリケーションである。

メールを作成し、「ペットで送る」を選ぶとペットはその手紙を持って部屋を出て行き、送信先相手のペットの部屋に手紙を置いていく。同様に、ポストペットから送られたメールを受信したときは、相手のペットが画面に登場し手紙を置いていく。飼い主であるユーザは、自分のペット、または手紙を運んできた相手のペットにおやつをあげたり、洗ったり、なでたり、叩いたりすることができる。また、ペットはおつかいを繰り返すうちにだんだん賢くなって、日記や手紙を書くようになったり、ペット同士が仲良くなったりのすることもある。

4. 製品の概要

この製品の諸元を表1に示す。また、この製品のその他の特徴について次に表す。

- ① オペレーティングシステムにマイクロソフト Embedded Windows CEを採用
- ② ポストペットのキャラクターを使ったゲーム搭載
- ③ ポストペットパークへの入会なしでおやつダウンロードが可能
- ④ Webブラウザにおいて、設定不要、簡単操作でmopera, So-netに入会可能
- ⑤ 簡易カレンダー機能、割り勘機能付き電卓搭載
- ⑥ 4096色カラーSTN液晶搭載
- ⑦ モモの顔を模した斬新な外観
- ⑧ ペンタッチによる直感的な操作
- ⑨ 「ペットの状態確認」「おやつ」「洗う」「かたづけ」「宝物」をボタンひとつで行える簡単操作が可能

5. キャラクターエージェント

電子メールは、文字・データを送受信するために開発されたものだが、昨今はエージェントと呼ばれる新たなサービス、機能が検討されており、その技術はメールのみならず、あらゆる通信アプリケーションに利用されている。

エージェントとは、メールの到着を知らせたり、興味ある内容のホームページを自動検索したり、自分の代わりにメールを取得してくれるなど、人の

代わりに作業するプログラムのことである。例えば、自分が作成したメールをペットが運んでくれるというポストペットはエージェントメールというカテゴリに分けられるともいえよう。エージェントメールは、1992年にジェネラルマジック社がTelescriptという記述言語とMagicCapという日常生活のメタファを使ったインタフェースで実用化を試みたのが有名である。現在では、メールアプリケーション以外に、ウルティマオンラインなどに代表されるサイバーシティゲームなどにも、キャラクターエージェントのアルゴリズムは利用されている。

5. あとがき

今後、次世代移动通信 (IMT-2000: International Mobile Telecommunications-2000) 時代を迎えるにあたり、電子メールはひとつの方向性として、静止画、動画、音声などの埋め込みなどのマルチメディア化が考えられる。また、エージェントは、メールをはじめとして、Webブラウジング、サイバーシティなどのコミュニケーションへの応用がますます進んでいくことだろう。

これからも、新たな技術の実用化を図り、またできるだけ簡単に操作できるものを提供することにより、モバイルコンピューティングの敷居を低くし、より一層多くの人々に利用してもらえる端末やサービス・コンテンツの開発を続けていきたい。